



LD等発達障害児・者親の会  
「けやき」機関紙

第106号

2014年10月発行

発行者・代表 三輪 覚子  
けやきホームページ URL

〒198-0014 東京都青梅市大門 1-787-8  
[http:// keyakitokyo.web.fc2.com/](http://keyakitokyo.web.fc2.com/)

## 11月例会のお知らせ



### 「障害者総合支援法における 就労支援について学ぶ」

日時：平成26年11月23日（日）13：30～16：30

場所：東京都多摩障害者スポーツセンター 第1集会室 AB

講師：NPO 法人クロスジョブ東京 湯田 正樹氏

働き方は千差万別！

自分にあった仕事を見つけ、心豊かに生活を送れることが大切。

そのために準備すること・できることには、どんなことがあるのでしょうか。

就労に向けた訓練や実習の支援を受けるには、どんな所があるのでしょうか。

湯田氏は、支援事業についてだけでなく、受け入れる企業側の状況にも詳しく、障害のある人が働き続けることのできる環境作りにも力を注いでこられた方です。

11月例会では、就労移行支援事業について詳しく教えていただきます。

会員の皆さま、ぜひご参加ください。

※11月例会（講演会）には会員外の方々にもご参加いただけます（有料）  
けやきホームページよりお申込みください。



# 9月例会報告

「配慮を要する子どもの進路と自立を考える」



日時：平成26年9月28日(日曜日)13:30~16:00

場所：東京都多摩障害者スポーツセンター 第3会議室

講師：かえつ有明中・高等学校スクールカウンセラー 池田聡子先生

自主グループ「つくし」では毎月の定例会の中で、子どもへの対応を話し合ってきました。勉強がわからない。わかりたいけど、周りはどうも先に進んでしまう・・・という切実な訴えに、親はどのように応え、支えたらいいのでしょうか。勉強への対応だけでいいのでしょうか。心のケアも心配です。このことから、将来を見据え、卒業後の自立を考え、今のうちからできることは何かをテーマとしました。

小学校高学年から中学・高校生たちが今後の進路や自立に向けて、親として今何が大事なのかを考えるために、かえつ有明中・高等学校スクールカウンセラー池田聡子先生をお招きしてお話をお聞きしました。

座談会形式で、参加者皆が今困っている問題や課題を出し合いました。親たちからの問いかけに対して、丁寧な助言を頂き参加者一同は、充実したあっという間の2時間半でした。

## <参加者の感想>

池田先生のご講演は「もっとみんなに聞いてもらいたい!」という思いで頭の中がいっぱいになりました。まず池田先生がご自身の子育ての中で様々なご苦労があったこと、またソーシャルスキルトレーニングを16年間も継続してこられた実践から、お話にも実感がこもり、説得力がありました。当日は出席者があまり多くなかったことが幸いし、出席者全員が子どもの状況話し、池田先生から具体的に改善案をご提案頂くことが出来ました。我が子は小学校2年生ですが周りの空気を読むことが苦手で友達を作ることができません。池田先生は「まず本人がどのような友達をもとめているのか明確にすること。

そして、子ども同士でいきなり友達になるのはハードルが高いので学校の中で誰か一人安心して話が出来る大人を持つようにするというステップを踏んだらいかがでしょう。」というアドバイスをいただきました。現在、実践してみて確かに我が子は学校生活で安心して過ごす時間が増えて良い方向に向いています。

次に「子どもに自己肯定感を持たせるためには、まず親自身が自分を好きになること。そのためには気分転換を最低2つ、出来れば3つ持ちましょう。そうすればゆとりが出来て自分を好きになれるし、我が子を客観視できます。」というお話は我が身を振り返り本当にその通りだと実感しました。

最後に印象に残ったことは出席された、お父様から「もっと発達障害に理解ある社会になって欲しい。」という声がありました。池田先生は「そのためにはまずは一人一人の発達障害の方が周囲の方にご自分をより良く理解して頂くように前向きに自分の状態を説明して理解を求めていくことではないでしょうか。たとえば『夜勤などの比較的客人が少ない時間帯から仕事に慣れていくと働きやすい。』等など。」とお話しされました。前向きな説明、本当に大切ですね。

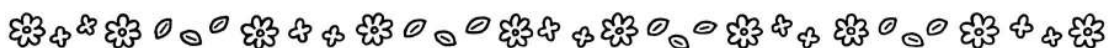
N.S

### <参加した皆様からも感想をいただきましたので、一部掲載します>

- 重なる時間をありがとうございました。実際に現場でご指導されている池田先生のお話は、心に響きすぐに実践しようと思います。
- 講師の経験で培った話は非常に為になった。
- 初めて親の会の研修に参加させていただきましたが、同じ問題を共有する人ばかりで安心しました。
- とても豊かな時間を過ごさせていただきました。池田先生の魅力が満開で、とても心地よい思いをしています。素敵な表情のなかにも的確なアドバイスがたくさんあり、またお会いできるのを楽しみに感じています。
- 子どもが現在不登校ということで、先生のお話を聞いて大変有益でした。
- その子の行動をよく観察し、分けて考えるというお話がとても印象に残りました。認めることでよい行動を増やしていくことや、いくつもではなく一つに絞って、それをターゲットにするというのも目からウロコです。
- とても詳しく、よく子どもや親の心理を理解していらっしゃり感動しました。参考になりました。
- お話の一つひとつが具体的で、自分と子どもの生きて来た道の良い振り返りとなりました。良い所はこれからも続けていけるように・伸ばしていけるように、見守っていきたいと思います。
- 講師の先生がすばらしかったです。役員の方々ありがとうございました。
- コミュニティにいる＝自分で稼ぐ＝自立、これができるように見守りたいです。
- 先生がおっしゃられたように、まず親が楽しんで、それを子に見せることが大切というのが、すうっと入ってきました。自分が好きなことをできていないと、子どものことばかり気になって、窮屈に感じてしまって、ますます対話できなくなっているのかも？と感じました。



T.T.



# 自主グループ活動報告



## ポーレポーレ

今年度の前期活動は予定どおりに行われました。内容は下記のとおりです。

- 4月 国立散策
- 5月 調理（チャーハン、餃子作り）
- 6月 プロ野球観戦
- 7月 お台場 日本科学未来館
- 8月 映画鑑賞
- 9月 室内活動（ゲーム、後期の活動決め）

月1度の活動でも毎回5～7名の参加があるという事はメンバーがポーレポーレを楽しみにしている事の表れだと思っています。

今月の（10月）の活動にもここ1年以上参加できなかったメンバーが顔を出してくれるという嬉しい事もありました。

ボランティアの方が不在での活動も数回ありましたが、活動をやめる事なく予定どおり行われました。

わたくしが活動への参加、不参加の取りまとめを行なっているのですが、メンバーからの返信メールも社会人らしくきちんとした文章で送られてきて嬉しくなる事があります。

ゆっくりではありますが、確実に成長しているメンバーの姿が感じられるこの頃です。

O.B



けやきの9月例会を、つくしの活動にしました。

参加者それぞれが、自分の子どもたちの様子を交えた自己紹介で会がすすみ、皆さんからだされた発言をもとに、池田先生から「ネガティブな視点を子に伝えると子どもが負担になる」とか「子どもの行動に焦点をあて、客観的な視点をもつ」等、思春期の子どもたちへの関わり方のコツをお聞きました。

当日、初めて参加された皆さんとも打ち解けた良い交流の場になりました。

次回の活動日は、11月1日(土) 10:00～12:00

国分寺労政会館 3階和室

T.T.

# 議事録だより(例会・役員会・渉外関係の報告)



## 7月

- 13日(日) 関東ブロック会議  
全国 LD 親の会評議員会報告・各会報告・ディスカッション  
ディスカッションでは、会員継続や退会判断についての情報交換  
次回は11月16日開催予定
- 27日(日) 7月例会  
DVD「発達障害の子どもたち～自立をめざして～」鑑賞と交流  
就労に向けては「働きたい」という本人の気持ちが大切だとわかった

## 8月

- 23日(土) 8月役員会  
LD 学会で親の会コーナーに展示する  
ポスターを作成  
今回も手作り感満載の仕上がり (\*^\_^\*)

## 9月

- 26日(金) 東京 LD 親の会連絡会  
東京都へ要望書提出  
福祉保健局・産業労働局・教育庁それぞれの  
担当宛に直接手渡し(12月に回答の予定)
- 28日(日) 9月例会(座談会)・自主グループ「つくし」共催  
「配慮を要する子どもの進路と自立を考える」  
かえつ有明中・高等学校スクールカウンセラー



池田聡子先生

## 10月

- 11日(土) 全国 LD 親の会教育講演会  
「発達障害のある子どもたちへの支援の  
仕方」～学校での取り組みと家庭での活用  
方法～  
植草学園短期大学 教授 漆澤恭子氏
- 25日(土) 10月例会  
機関紙「けやき」106号の印刷・封入・  
発送作業&交流会





## ＊ 就労支援に関する事業について ＊

小学校や中学校では通級を利用したり、スクールカウンセラーに相談したり、日々の生活は学校に通学する、苦手であっても学ぶことが明確に決められていました。

高校では、同じ3年間でも卒業して進学（専門学校・大学）する人以外は、就職する人、社会人として働くための準備期・移行期を迎える人などに人生が分岐していきます。

そんな時期に利用できる事業として、障害福祉サービスの「就労移行支援事業」や「就労継続支援事業A型」「就労継続支援事業B型」があります。

事業名	期間	工賃等	対象者	サービスの内容
就労移行支援事業	2年間延長可	事業所による弁当・交通費・賃金を支給する事業所も有	65才未満・就労を希望者し適性に合う就労の見込がある者	事業所での作業を通じ体力や職業習慣の確立などの準備訓練を行う。個別支援計画に基づき実習・職場訪問等の支援もする。定着支援は6ヵ月程度。
就労継続		賃金を	65才未満・に就労が可能な者	に基づき就労のを し ・力の者には就労を し支援も行う。定着支援は の就労支援一に行う。
		工賃支給月	移行をし者 5才にしる者 のできる者	通所・の場を就労 にな・力が者に対 しは就労の移行支援を行う。

※平成26年障害者雇用促進ハンドブックより ※

「障害者総合支援法」の障害福祉サービスで、利用するには訓練等給付の手続きを受ける必要があります。市役所の障害福祉課等で受けられますが、事業所を見学し、事業所の訓練や作業の内容などの説明を受け、通所や利用を決める前に体験をして本人が自分の意志で通所を決めることが大切です。

最近の傾向として、社会福祉法人や特定非営利活動法人(NPO)だけでなく民間企業も参入し、取り組んでいる作業内容やプログラムも様々です。企業での外部実習も行っている事業所、移行施設でもゆったりしている事業所、B型でも就労支援までバッチリ行う事業所もあります。また、多機能型で運営している場合には、A型とB型、B型と移行などの併設や3つの事業を行っている場合もあります。

※小金井市障害者就労支援センター ポーバル聡美※

# 散歩道



夏休みに、箱根町の箱根駅伝5区のゴール地点の隣接地にある、『箱根駅伝ミュージアム』に行ってきました。ミュージアムでは、若い説明員の方に様々な箱根駅伝のエピソードを教えてくださいました。

☆1920年の第1回大会では、大学生の大会なので、勉強をしなければいけない事を重視して、2月の土日に開催し、また、土曜日の午前中は大学で授業を受けてから午後から開催となった。10人の20km以上走れるランナーを揃えられる大学が少なかった為、4校の開催で、東京高等師範（後の東京教育大、現・筑波大）が優勝した。（他の参加は、慶応大、早大、明治大）初日は、早いランナーで19時頃、遅いランナーは21時頃にゴール。夜だったので、箱根町の方々がたいまつを持ってランナーを出迎えた。15時間以上かかり、今よりも4時間半以上時間をかけて10区間を走った。

☆昭和30年から、車の量が増え、東海道の国道を使うことを考え、今の1月2日・3日の開催となった。



☆昭和31年から、参加校が増えた為、予選会を行ない、今の形式となった。

☆昭和62年から日テレによる生放送が始まった。昔は、箱根の山中をTVで生中継するのが技術的に難しく、生放送出来なかった。1980年代後半になって、TVの技術が進歩して全部の区間の生中継が可能になった。

☆大学生でやる競技で、強いランナーがいても4年で卒業となる為、昭和34年～昭和39年に中央大学の成し遂げた6連覇は今後破られないだろう。

箱根駅伝は90回を数えるので、歴史があり、その時々にかかわった人達が工夫を凝らして現状の形の競技に変えてきており、興味深く話を聞かせてもらいました。

さて、以前、箱根駅伝を沿道で応援したことがあります。各校のコーチや監督が、走っている選手の後ろについている伴走車から選手にはっぱをかけている声は様々でした。特に、大学4年生の選手にかけていた声は印象に残っています。「おまえの大学の集大成を見せてやれ。」「〇〇大学の1年生には負けるなよ。あともう少しだ。」「後ろに△△大学の1年生が近づいているぞ。4年生の意地を見せろ。」などなど。

陸上の一流選手が多い箱根駅伝ですが、選手の力を最大限発揮させる為にはこのような伴走車からののはっぱが必要なようです。

箱根駅伝の伴走車に乗っているコーチや監督と同じように、いつも叱咤激励をしながら子供を見守り、少しでも持っている力を引き上げるべく日々頑張っているという点では、障害者やボーダーの子を持つ親にも通じるものがあると思う今日この頃です。

E. I

## 会員募集

「けやき」では、年間を通して新規入会の受付をしています。親の会「けやき」は、正会員・賛助会員・通信会員・ボランティア会員の皆様のご協力とご支援によって活動しています。

発達障害とその周辺児・者の親（保護者）の会として、互いに学びあい、居場所となれるように話し合いを重ねています。

入会をお考えの方には、どうぞお気軽にお問い合わせください。



※年会費 5000円

※活動日の会場に直接お出でください。詳しい日時・場所はホームページにてご案内しています。（かならず事前にお確かめください）

※賛助会員・通信会員・ボランティア会員も募集しています。

詳しくは、当会「けやき」ホームページ

<http://keyakitokyo.web.fc2.com> の「入会のご案内」をご覧ください。

お問い合わせや連絡は、[oyanokai\\_keyaki@yahoo.co.jp](mailto:oyanokai_keyaki@yahoo.co.jp)にてお伺いします。

### 【編集後記】

二子玉川の花火大会（8月23日）を見に行ってきました。観客数は38万人との発表でした。雨が心配でしたが、開催中は雨も降らずますますの天気でした。世田谷側で6,000発、川崎側で6,000発打ち上げられました。今年も川崎側で花火の競演を見てどれも素晴らしい作品で一瞬の輝きに感動しました。



T.M

